

船舶事故等調査報告書

平成26年9月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014神第53号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成26年5月4日（日、祝日） 12時45分ごろ
発生場所	和歌山県日高町阿尾漁港西方沖 日高町所在の阿尾港東防波堤灯台から真方位272° 1,650m 付近 （概位 北緯33° 54.3′ 東経135° 03.6′）
事故等調査の経過	平成26年5月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート オミツ、14トン
船舶番号、船舶所有者等	243-37476兵庫、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	右舷船尾船底に亀裂、右舷プロペラ翼に曲損
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者7人を乗せ、フライングブリッジにおいて、1人で操船を行い、約25ノットの対地速力で阿尾漁港西方沖を北北東進していたところ、船首方に小型の漂泊船1隻を認めた。</p> <p>船長は、漂泊船を左舷側に見て通過することにし、陸岸からの距離が十分にあるので、右に約20° 変針して北東進中、平成26年5月4日12時45分ごろ浅礁に乗り揚げ、乗り切ったことを知り、直ちに機関を中立とした。</p> <p>船長は、右舷プロペラ軸受付近からの浸水を認め、海上保安部に携帯電話で118番通報を行い、本船は、和歌山県海南市のマリーナに自力で向かった。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の中央期、波高 約0.5～1.0m</p>
その他の事項	<p>本船の喫水は、船首約0.6m、船尾約1.5mであった。</p> <p>船長は、GPSプロッター画面上の以前に航行した航跡に沿って操船し、阿尾漁港に入港する予定であり、付近の浅所の状況を確認していなかった。</p>
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	なし

<p>判明した事項の解析</p>	<p>本船は、阿尾漁港西方沖を北北東進中、船首方の漂流船を避航する際、GPSプロッターで付近の浅所の状況を確認しておらず、右へ約20°変針したことから、浅礁に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、阿尾漁港西方沖を北北東進中、船首方の漂流船を避航する際、GPSプロッターで付近の浅所の状況を確認しておらず、右へ約20°変針したため、浅礁に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPSプロッターを有効に活用し、付近の浅所等の状況を十分に確かめて航行すること。 ・岬の沖を通過する場合、離岸距離を十分に確保できるよう、針路を適切に選択して航行すること。